

第2回すすかぜまつり祭を終えて

すすかぜ祭 実行委員長 菅原 誠一



9月28日土曜日に第2回地域交流祭「すすかぜ祭」を行いました。今年も昨年同様、天気も良く、絶好の祭日和となりました。八王子いちょうの会では模擬店としてそれぞれの事業所がやきそば、ちぢみ、フランクフルト、やきとり、わたあめ、ポップコーンなどを出店しました。午前中には石森八王子市長も見学に見え、八王子いちょうの会の事業所以外に、恩方育成園さんの焼きたてパンや、ふきのとうさんの木工製品・高尾青年の家さんの高尾錦塗りのキーホルダーなどの自主製品販売、ボランティアさんによる三味線やマンドリン演奏、フラダンスなどのアトラクション、また東京ヴェルディさんのご好意によりストラックアウト（サッカーゲーム）も大盛況に終わり充実した一日となりました。

今年も三田町会の大野副会長や興福寺さん、近隣の方々にはご協力いただき、ありがとうございました。いろいろ反省点がありますが、その反省点を次回の実行委員に引き継ぎ、来年もより良い祭にしたいと思っています。みなさんお疲れ様でした。





いちよう工房 虹 ハンドベル



いちよう工房虹は、8月24日にクリエイイトホールで行われた“MUSIC BASKET—障害者、未就学児可の気楽なコンサート”に初めて出演しました。満席の会場の中、スポットライトを浴びて歌とハンドベルの演奏をしました。大勢のお客さんを前に利用者さんたちも張り切って、練習の時以上に集中していました。元気な歌声と澄んだハンドベルの音が流れると、会場がしーんとなって静かに演奏を聴いてくれました。

演奏後お客さんから「利用者さんが楽しそうにハンドベルを振る様子に感激した」「翼をください」では感動して涙が出た」などの感想を頂きました。これからも、みんなで力を合わせ、素晴らしい演奏をお届けしたいと思います。



ショートステイ「ふ・ふ・ふ」について
今回はケアホームアイビーと一緒に運営しているショートステイ「ふ・ふ・ふ」についてお伝えします。

「ふ・ふ・ふ」は現在3部屋で運営していますが、そのうちの1部屋は緊急時用として確保しており、実質2部屋での運営となっています。

利用者さんの主な一日の過ごし方は、平日は6時に起床し7時前後に朝食を摂り、身支度を整えて各作業所に出発します。そして16時前後に帰所され、19時前後に夕食を摂ります。入浴に関しては夕食前後でなるべく希望に沿った時間に入浴して頂いています。そして21～22時までに居室に戻って頂き、その後就寝となります。「ふ・ふ・ふ」ではなるべく無理のないスケジュールで、ご家庭にいらっしゃる時と変化が無いように過ごしていただいています。

休日は平日各作業所に通われる時間に移動支援をご利用して頂くようにしています。これは「ふ・ふ・ふ」が宿泊施設として運営しているため、日中に職員配置が困難なためです。皆様ご理解いただければと思います。

まだまだ「ふ・ふ・ふ」をご利用いただいている方も多くありますが、是非1泊2日等の短い期間のお試し利用をなさして下さい。

職員紹介

東浅川がスタートしてから、入職した正職員をご紹介します。

写真の左から宇都宮克郎（所属：スカイ）、渡邊優作（所属：すまいる）、廣瀬浩章（所属：すまいる）の3名です。3名とも福祉関係での経験は少ないですが、異業種で培った経験を活かし、広い視野を心掛け、勉強の毎日を送っています。



また東浅川では、不定期ではありますが《男子会》を実施しております。普段は非常に真面目な3人ですが、酒好きという共通点もあり、楽しく結束を深めています。

色んな行事でお世話になる事があると思いますが、今後とも宜しくお願いします。

（いちよう工房 東浅川 廣瀬）

■ いちょう工房 ゆぎ

◆健康器具で体力づくり◆



このほどいちょう工房ゆぎではふたつの健康器具を導入致しました。所内作業は座位での時間が長く続く為、作業の合間に気分転換を兼ねてこれら器具を使ったストレッチを勧めています。運動の目的は下肢可動範囲の柔軟と、体幹の強化を図る事が主です。写真は背中ストレッチをしているKさん。「毎日やってるんだよ！」と真剣な表情です。継続して取り組むことで、心身ともに健康で元気な姿で毎日をご過ごせると良いですね。ただし、熱中し過ぎて次の日筋肉痛に…なんてことにならないように！

■ いちょう工房 みらい

みらいは、5月から生活介護事業1本になり、現在は、午前中は袋作業、午後は余暇活動の形で活動しています。

7月5日には、日帰り旅行で横浜に行きました。ホテルのバイキングで美味しい料理をお腹いっぱい食べた後、日清カップヌードルミュージアムに行きました。きれいに並んだ歴代のカップ麺を見て、並んでいるのが好きなOさんは大喜び。結局5回も見ました。そして、いよいよメインイベントのオリジナルのカップヌードル作りです。まずカップにマジックで絵を描きます。そしてスープの味を選びトッピングを13種類の中から4つ選んで入れてもらいます。味は帰ってからの楽しみなのですが、すぐ食べたくて館内中でお湯を探しまわった人もいました。その後、工場での製造過程のビデオを見たり、不思議な写真が撮れたりする館内のアトラクションを楽しみました。



7月31日には、八王子特別支援学校のプールに行きました。1畳くらいのスポンジの上に乗って遊んだりする人、ちゃんと泳ぐ人と、それぞれ楽しみました。また、午後の個別の活動として、相模原のプールにグループごとに行くようになったり、みなさんそれぞれ楽しんで過ごしています。

今後は、午後の活動のバリエーションをより増やして、楽しい作業所にしていきたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。

■ いちょう工房 そら

そらではショッピングバッグ作りを中心に古本作業、公園清掃、ポストインクを行っています。古本作業は八王子いちょうの会の中ではそら独自の作業で、他法人と合同でネット販売を展開し年々売上げを伸ばしています。

まずは利用者さんが古本回収チラシを地域に配布し、ご連絡いただいた場所へ利用者さんと古本回収に伺います。回収の際、地域の方と接するのを利用者の皆さんは楽しみにしています。いただいた古本は利用者さんに本の状態を（汚れ、破れ、書き込み・サイズなど）確認してもらい、拭きます。書き込み・線引きがないか、破れてないかなどを紙に書き、本に挟みます。

1冊ずついねいに拭き、大きさごとに分けます。古本を発送する際の段ボール封筒のラベル貼り、スタンプ押しも行っています。利用者さんそれぞれ得意なことを活かしながら、分担して取り組んでいます。

ご家庭で不要な本がありましたら、そらまでお知らせ下さい。利用者さんが元気に取りに伺います！



都内 日帰り旅行

自主製品あれこれ

いちよう工房ゆぎでは利用者さんと手作りクッキーを作っています。クッキー類とブラウニーなどの焼き菓子で最近ではかぼちゃにんじん、ほうれん草など野菜のパウダーを使ったクッキーを作っています。(かぼちゃクッキー150円 他)

市役所の売店やJRかてかて福祉まつりなどイベントで販売しています。購入された方からは大変好評でこれからは販路を広げて行きたいと思っています。ご予算に応じて、詰め合わせなど対応します。



連絡先 いちよう工房ゆぎ

八王子市下柚木 2-18-16 ビーブル南大沢 101号

Tel 042(675) 8887

研修委員会より

八王子いちようの会の研修委員会が発足して、1年半が経過しました。法人本部と研修委員が各事業所の職員から受けた研修のアンケートを取り年間の研修計画を立てています。

全体研修と目的別研修を設け、平成25年度後半は11月の全体研修には3ヶ所の近隣福祉関係者にも声掛けし、その他2月に目的別研修を予定しています。各事業所でも毎月のミニ研修や東京都育成会の研修も参加できますので、八王子いちようの会は研修の機会に恵まれた法人だと思えます。

これからも研修を重ね利用者、お一人お一人によりよい支援が出来ます様スキルアップしていただけたらと思います。研修委員一同、その一助になりますよう努力してまいります。

(研修委員長 鈴木洋子)

防災委員会より

防災委員会では、主に地震・震災に対する八王子いちようの会及び各事業所の統一した準備、対策を話し合い、進めてきました。

昨年度は9月の全事業所一斉避難訓練の計画と実施、防災備蓄食糧品(各事業所人数×3日分)の内容検討と購入・配置を行いました。

防災に関してはこれだけあれば万全、といったことは無く、物品の準備以上に大切なのは利用者さん・職員・ご家族の皆さんの1人1人の災害に対する心構えなのではないかと思えます。近いうちに大規模地震が発生する確率が高いことは、報道等で皆さんもご存じかと思えます。約2年前、東日本大震災をそれぞれの状況のなかで経験した私たちは、その経験を決して風化させずに活用するべく、今後も取り組んで参ります。

(防災委員長 大村 直)

寺院清掃

こうげついん

皎月院の清掃について

6月より八王子いちようの会の事業所の中で、みらい・虹・そら・ゆぎの4団体で下恩方町にある寺院の皎月院さんの駐車場清掃を行うことになりました。利用者さんも暑い中の作業でしたが黙々と雑草取りや枯れ葉拾い等されていました。休憩時には、恩方の天然水を飲みながら皎月院の奥様とおしゃべりを楽しみ、帰りには野菜やお菓子のお土産を頂きました。

利用者さんの中には「また行きたい」と次回を楽しみにされている方もいらっしゃいました。